

What's up,

OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分！)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.17》2014年7月1日発行

【ご挨拶】 大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

6月には、ベトナム・ハノイとホーチミンで大分県人会が発足し、多くの参加者が集まり会も盛り上がりしました。ベトナムも活気にあふれ、日系企業の進出はもちろんのこと、日本料理やイオンの進出など、今後の可能性を秘めていると感じたところです。7月2日には県内企業等による大分県アジアビジネス研究会も発足します。皆様方の海外でのご活躍を祈念します。



バックナンバーはこちら <http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>



大分県の海外関連施策について

海外関連施策に携わる県職員が、皆さまがお住まいの国・地域に向けて実施している県の施策等をご紹介します。ぜひ、県のPRにご協力ください！



工業振興課

課長

小野 賢治

(Kenji ONO)

【連絡先 (Mail)】

ono-kenji@pref.oita.lg.jp



工業振興課の小野と申します。

当課では、大分県内のものづくり企業が、人を育て、技術力を磨き、国内はもとより海外にも販路を拡大できるよう支援を行っています。

中小地場企業にとって、海外でビジネスチャンスを掴むことは容易なことではありません。しかし、自動車や半導体関連企業は、それぞれの企業会が中心となり海外交流・取引を進めています。

この動きをものづくり業界全般に波及させるため、「(一社)大分県工業連合会」と「台湾金属工業研究発展中心」が仲介役となり、いよいよ今年9月に県内企業が台湾を訪問し、企業間交流とビジネスマッチングを行います。

海外でご活躍なさる皆様には、是非、県内ものづくり企業の取組にご理解・ご支援をお願い申し上げます。



(台湾金属工業研究発展中心とのMOU締結式)



Pick Up! 大分の「今」

①来夏デスティネーションキャンペーン 特設情報サイトがオープンしました！

デスティネーションキャンペーン (DC) とは、地方自治体及び地域の観光事業者等がJRグループ6社と連携し全国からの誘客を図ることを目的とする国内最大規模の観光キャンペーンです。おんせん県おおいたでは、平成27年7月1日(水)～9月30日(水)の3ヶ月間キャンペーンを行います。キャッチコピーは「いやします。ひやします。おんせん県おおいた。」です。下記特設サイトにご注目ください！



<http://www.onsenkenoita-dc.jp/top/>

②高崎山のサル(♀)総選挙結果が発表

野生のサルを間近に観察できることで人気の高崎山自然動物園で、この度「2014TNZ 人気ザル(♀)選抜総選挙」の結果が発表されました！エントリーしたのは同園のメス猿15匹とガイドの尾藤さん。総投票数は2,433票となり、269票を獲得した「ピー(3才)」が第1位の栄冠に輝きました(2連覇)。第2位は、唯一の人間候補であるガイドの尾藤さん(266票)で、僅差で初優勝を逃してしまいました。



(詳細は、高崎山自然動物園ホームページ)
<http://www.takasakiyama.jp/takasakiyama/topics/detail.php?id=63>

ペルー大分県人会からのお便り

ペルー大分県人会 杉丸 政則 様からのお便り

「2014年6月1日発行の<Vol.16> “What's up, OITA” 楽しく読ませて頂きました。『ペルーの世界遺産・マチュピチュが県内に???』の記事で、故郷・大分県内に“マチュピチュ”があるとのこと、本当に驚きましたし、うれしく思いました。現地のマチュピチュ遺跡はジャングル地帯の入口にあるために紅葉も雪化粧も見ること出来ませんが、本場の遺跡はスケールが違います。是非本物の遺跡を観光頂きたく、ペルーにお越し下さい。」



(写真)『2014年母の日・父の日謝恩会(6月21日)』に会員40名が参加

NEW 大分県からのお知らせ(6月)

●「大分県財政状況の公表」

[2014年6月1日]
<http://www.pref.oita.jp/soshiki/11400/zaimuiyokyonkouhyou.html>

●「県立美術館 5月の建設現場」

[2014年6月11日]
<http://www.pref.oita.jp/site/suisinkyoku/genba5.html>

●「第12回大分アジア彫刻展審査結果」

[2014年6月17日]
<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10920/asia2.html>



「ベトナム初となる大分県人会が設立」 国際政策課

ベトナム初となる大分県人会が、同国の首都ハノイ、最大の商業都市であるホーチミンの2地域に設立されました。両地域とも多数の県出身者や立命館アジア太平洋大学の卒業生等が参加し、故郷の話題で大いに盛り上がりました。今回の設立で、海外大分県人会は世界16カ国1地域に23団体となりました。

ハノイ大分県人会

【日 時】平成26年6月12日(木) 18:30～

【会 場】日本食レストラン「味華 おはん」
(店主は別府市出身の板野 達彦 様)

【参加者】計48名

双日ベトナム会社ハノイ支店 副社長兼支店長の首藤 典昭様(挟間町出身)が世話人となり、当日は予想を上回る多数の方にご参加いただきました。



ホーチミン大分県人会

【日 時】平成26年6月13日(金) 18:30～

【会 場】日本食レストラン「大黒屋」
(店主は大分市出身の後藤 政文 様)

【参加者】計21名

三井住友海上ベトナム法人ホーチミン支店長の井上 競様(大分市出身)が世話人となり、会員募集や会場手配等にご協力いただきました。



「台湾にて訪日教育旅行の誘致行事に参加」 国際政策課



廣瀬校長と記念撮影(台中市)

6月3日～6月5日の期間、台湾にて台湾訪日教育旅行現地説明会が開催され、参加してきました。台湾からは、学校職員、旅行会社が参加され、「教育旅行は是非大分へ！学校交流はおまかせを！」とPRし、『大分』の魅力を伝えるべく全力を尽くしました。台北市、台中市、高雄市で説明会が開催され、台中での説明会には、大分県出身で台中日本人学校校長をされてます廣瀬先生が、バナナをお土産に来て下さいました。とっても甘くておいしい台湾バナナとパワーを頂いて、『大分』の魅力を精一杯ご案内する事ができました。廣瀬先生、どうもありがとうございました。

また、台北では台湾大分県人会の皆様とお会いし、懇親会を開催して頂き、とても楽しい時間がもてました。今回参加して頂いた会員の坂本様のご息が、日本と台湾の違いや大分について思うことを熱心に話されているのを聞いて、やはり異文化を知る事、体験する事は、視野が広がり、グローバルな人材育成につながるのだと再認識しました。グローバル人材の育成に貢献できるよう、教育旅行・学校交流の誘致にこれからも尽力致します。懇親会を開催して頂いた木津県人会長はじめ、平野様、坂本様どうもありがとうございました。



台湾大分県人会の皆さんと記念撮影(台北市)

訪日教育旅行担当:佐藤



別府市制90周年イベントが開催されます！

別府市ONSENツーリズム部
文化国際課



世界中でご活躍されている皆様へ！
別府市文化国際課よりお知らせです。

別府市が大正13(1924)年4月1日に市制を施行して
から今年で記念すべき90周年を迎えました。

当時人口約3万6千人であった別府市も先人たちの多
大な努力により、幾多の困難を乗り越え、全国に知られ
る温泉都市として現在では年間約800万人(内外国人
観光客20万人)が訪れる人口12万人の観光都市として
発展しました。また、平成12(2000)年の立命館アジア
太平洋大学(APU)設立を契機に市民30人に1人が外国
人というインターカルチュラルシティとしての性格も有
しています。

そんな別府市の今を表すイベントとして、8月17日に
「別府市制90周年記念 国際交流なんでんかんでん
フェスタ」をビーコンプラザで開催することとなりました。
当日は国際フード屋台や民族舞踊を披露するステージ、
世界の遊びを体験できるコーナーなど、約80の国と地域
から約3千人の留学生が生活している特色を活かし国際
色豊かな会場で、日本人も外国人もなんでんかんでん
一緒に楽しむイベントを企画しています。

別府といえば温泉ですが90年経った今、国際色豊か
な別府として外国人と日本人が共に力を合せ、100周年
へと羽ばたいています。

皆様のこの夏の里帰りをお待ちしています！！

平成26年 8/17日 10:00~18:00

開催場所：別府B-CONプラザ

内 容

- 各種ステージイベント、
- 世界の料理ブース、
- 各種出展ブース、
- 多文化共生パネルディスカッション

共 催：別府市文化国際課、B-CON PLAZA

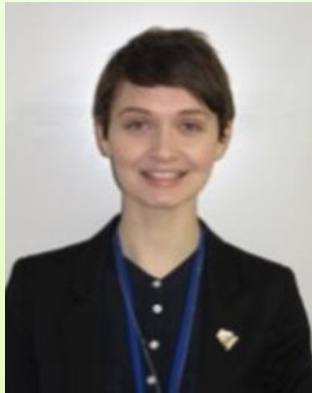
協 力：APU、別府大学、別府情報学園短期大学部(協賛)



県国際交流員(オーストラリア)が任期を終え帰国します。

国際政策課

2011年7月から2014年7月までの3年間、県の国際交流員として活躍したニコール・フリン氏が、この度任期を終え、オーストラリアへ帰国することとなりました。海外プロモーション時の知事通訳をはじめ、「国東半島宇佐地域」世界農業遺産認定申請書の翻訳やプレゼンテーションの通訳、県内JET参加者へのカウンセリング等、本県の国際化へ多岐に渡り貢献いただきました。今後も引き続き、県とオーストラリアとの架け橋としてご活躍いただきます！



「大分県に来てから、3年間があつという間に経ってしまいました。7月末に母国のオーストラリアに帰国しますが、大分県で体験したことは一生忘れられません。今まで大分県で体験したことを振り返ってみると、仕事関係でもプライベートの用事でも県内外様々なところに行けたことがとてもラッキーだと思います。

「魅力体感ツアー」という事業で豊後高田、宇佐、佐伯、湯布院などに行って地元の人と触れ合うことができとても嬉しかったです。昨年、「いなか暮らしの本」という情報誌の「住みたい田舎のベストランキング」特集に、日本国内第1位に選ばれた豊後高田市にある地元のそばレストランでそば打ち体験ワークショップに参加しました。他にも湯布院の箸作りのワークショップに参加して大分県産の木材を使って自分のマイ箸を作りました。やはり、自分の手でものを作ることは印象に残ると思います。そばはその場で食べてしまったが、マイ箸はオーストラリアに持って帰れるので、使う度に大分県を思い出すでしょう。

これからオーストラリアに帰国して大分県で学んだことを活用しながら、両国の友好協力に貢献していきたいと思っています。将来また、第二の故郷のである分県に帰ることを楽しみにしています。」 1st July, 2014 Nicole

ニコール・フリン
(Nicole Flynn)

オーストラリア(QLD)



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

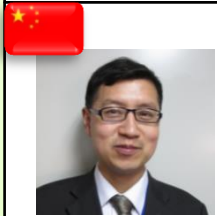


林 泰男
(Taenam Lim)
県国際交流員
韓国(ソウル)
pu101502@pref.oita.jp

東海大学海洋学部が運用する海洋調査船「望星丸」が別府港に寄港して22日に一般公開を行いました。望星丸は全世界の海を回りながら海洋研究や研修航海などを行う2,174トン規模の船で、この日の公開では船内や海洋観測施設の見学のほかにも高校生向けの海洋教室、深海水圧体験コーナーなどが設けられました。



前日から大雨が降りましたが幸いこの日には弱まってきて、多くの学生たちが参加し海の神秘に目を輝かせていました。私自身も水深によって海の色が変わって見える仕組みなど、普段触れることのできなかつた海のことについて知るいいきっかけになりました。



楊 鋼
(Yang Gang)
県国際交流員
中国(湖北省)
pu101501@pref.oita.jp

明治時代の文壇で輝いた人物国木田独歩は豊後の国で滞在した経験もあったことは大分県に来てから初めて知りました。それで、6月8日に佐伯市の国木田独歩館を訪れに参りました。本館の建物は昔の鶴谷学館の館長坂本永年邸でしたが、明治26年10月から明治27年7月末までの間、国木田独歩と弟取二がそこで下宿したそうです。二階の独歩が下宿した和室まで見学しましたが、師匠がお使いになった座卓の前に座って、当時現場の様子を思いやり、すごく感銘しました。佐伯での一年間足らずの生活経歴は独歩の文壇への基礎を固めたと言われていますが、それが「豊後の国」の魅力に薫陶を受けたからだと思っております。皆様もぜひその独特の魅力を体験にお越しください。



湖北省研修員 熊婧(ユウ・セイ)さんが来県(6月19日)

県と中国湖北省の交流の一環として、昨年度に続き同省から研修生をお迎えしました。これから半年に渡り、県観光・地域振興課や(公社)ツーリズムおおいたにおいて主に観光分野の研修を受講します。皆さん宜しくお願いします！

【熊婧さんからメッセージ】

「大家好！皆さん初めまして。日本一の温泉資源を誇る大分県は、中国でも温泉観光地として広く知られています。大分の温泉は種類が豊富で体に良いだけでなく、別府地獄巡りのように見て楽しめるという点も素晴らしいです。更に、豊かな自然に育まれた海の幸、山の幸、おおいた豊後牛など地の食材を使った自慢の料理も堪能できます。また何より、「おんせん県」として、県と各市町村が観光をはじめとする地域振興に力を合わせている点も魅力的です。

私が住んでいる湖北省咸寧(かんねい)市も、中国有数の温泉町として有名です。市内温泉ホテルの他、静かな山間で自然に癒やされる温泉施設もあります。キンモクセイ(桂花)、孟宗竹、ラミー(麻の一種)、磚茶(せんちゃ。乾燥した茶葉をレンガ状に固めたもの)の産地としても有名です。今回の研修を通して、各市町村を訪ね、大分県の魅力を満喫したいと思っています。そして、大分県の観光について、体験したこと、学んだことを、一人での多くの中国人に伝え、地元の発展と相互交流に役立てるよう頑張ります！」



【氏名】熊婧(ユウ・セイ)
【所属】湖北省咸寧市人民政府外事弁公室



(6/23知事への来県挨拶)

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【由布市／国東市】



(由布市)「由布院温泉」
由布岳を臨む露天風呂が多く点在する由布院温泉



(由布市)「牛食い絶叫大会」
大草原に絶叫が響く秋の一大イベント



(国東市)「三浦梅園旧宅」
江戸時代の思想家で自然哲学者の三浦梅園の旧宅



(国東市)「ペトロ・カサイ像」
日本人として初めて聖地エルサレムに立った宣教師

話題提供のお願い！！

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課 担当:猿渡(さるわたり)
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp





ますます便利に！

湯布院行き高速バス「ゆふいん号」

- ・福岡空港国際線から湯布院行き的高速バスが便利になりました
- ・「九州オルレ 九重・やまなみコース」にも行きやすくなりました

1 福岡空港国際線ターミナルから乗車

今年5月21日から、湯布院行き的高速バス「ゆふいん号」が、国際線ターミナルから乗車できるようになりました。(毎日11往復)。福岡空港国際線ターミナルから由布院駅前バスセンターまで所要時間、1時間39分。事前予約が必要です。

- パソコン・スマホからは「あっとバスで」検索
<http://www.atbus-de.com/>
- 電話予約は、九州高速バス予約センター
電話0120-489-939 (8:00～19:00)
九州のバス乗り放題乗車券[SUNQパス]
(北部九州3日間8,000円他)も使えます。



福岡空港国際線ターミナルバス亭

日田バス 星の群バス

平成26年5月21日より九重インターバス停へ乗り入れ開始!
福岡空港国内線から国際線ターミナルへのりば変更!
(湯布院行きは1Fのりばより発車、福岡行きは3F降車場に到着)
후쿠오카공항 국제선 터미널로 승차장 변경!!

高速集合バス
ゆふいん

Fukuoka
福岡
후쿠오카

高速バスなら

片道 2055円
4枚割り回数券(8,220円)と利用の場合

SUNQバス

Yufuin
湯布院
유후인

博多港国際ターミナル・博多ターミナル・天神・福岡空港国際線ターミナル ← 由布院駅前バスセンター
후쿠오카국제터미널 / 후쿠오카터미널 /天神 / 후쿠오카공항 국제선 터미널 ← 유후인역 앞 버스센터

1日11往復
1日 11往復
(福岡と湯布院の間を毎日運行)

西鉄天神バスセンター
日田バスセンター
～由布院駅前バスセンター
最速 **2時間01分**

片道 **2,880円**
往復 **5,140円**

福岡空港国内線ご利用のお客様は、空港内無料連絡バスをご利用ください

Free 福岡空港(国際線⇄国内線)無料連絡バスのご案内

国内線へは、国際線ターミナル1Fのりばより約5分～8分毎に運行(所要時間約10分)

国際線ターミナル

国内線ターミナル

国際線へは、国内線ターミナル1Fのりばより約5分～8分毎に運行(所要時間約10分)

お問い合わせ・ご予約は

パソコン・スマホからは
あっとバスで 検索
<http://www.atbus-de.com/>

電話予約は
九州高速バス予約センター
0120-489-939
【受付時間 8:00～19:00】
由布院駅前バスセンター
0977-84-3145
【受付時間 8:00～18:00】
日田バスセンター
0973-22-7681
【受付時間 8:00～18:00】

高速バス広報チラシ

2 九重インターバス停へ乗り入れ開始

2013年12月にトレッキングコース「九州オルレ 九重・やまなみコース」が開設され、このコースを歩く国内外の観光客が増えています。今回のバスダイヤ改正で湯布院行き高速バス「ゆふいん号」は九重インターバス停に停車することになりました。

九重インターバス停からは、「九州オルレ 九重・やまなみコース」のスタート地点である九重”夢”大吊橋行きのバスの接続もよく便利です。(右)「九州オルレ 九重・やまなみコース」パンフレット

「九州オルレ 九重・やまなみコース」の詳しいことは、九州観光推進機構HP
<http://www.welcomekyushu.jp/kyushuolle/>

